

# 90<sup>th</sup> Celebration Special Gala

～語り継ぐバレエの軌跡～  
マエストロ福田一雄のドリーム・プロジェクト

## スペシャル・ガラ バレエ の 情景

### 我が師、福田一雄先生と共に

〈情景の音楽〉〈踊りの音楽〉〈音楽を聴かせる音楽〉。バレエ音楽にはこの3つの役割があると、福田一雄先生はおっしゃいます。音楽は群舞と溶け合って世界を作り、踊りの見せ場ではあくまでもダンサーを支えることに集中する。しかし序曲などでは音楽が主役となり、演奏そのものを聴かせるべきであると。その巧みな使い分けで紡がれる福田先生の音楽は、とても柔らかく、滑らかで、角張ったところが少しもありません。フレーズとフレーズがどこまでも自然に繋がって、聴く人の耳に心地よく流れ込み、ダンサーの踊りを引き立てる。そしていつも誰より楽しそうにタクトを振り、かと思えばオーケストラをぐんぐん煽り立て、実にいきいきとしたサウンドを引き出していく。音楽とは本来、こんなにも楽しいものなのだ——満面の笑顔で指揮台に立つ福田先生は、私たちに一番大切なことを思い出させてくださいます。

たぐい稀な音楽の才と、泉のような知識。日本初のバレエ指揮者として道なき道を切り拓き、90歳を迎えてなお挑戦を続ける福田一雄先生は、私の人生の道しるべです。私も先生と同じ道を歩き、先生が見てきた風景を見て、いつか先生のような芸術家になりたい。その目標に

向かい一層精進していかなばと、決意を新たにしています。今回の公演では、福田一雄先生とゆかりの深い5つのバレエ団が垣根を越えて集結し、先生との歴史や思い出がそれぞれに刻まれた作品を披露してください。そして演奏はもちろん、創立以来福田先生と共に歩んできたシアターオーケストラトーンキョーです。このようなメンバーで作り上げる一度限りのステージはきっと、心揺さぶる踊りが舞台を満ち、温かく特別な音色が劇場中に響き渡る、そんなひとときとなることでしょう。

約70年にわたり時代を牽引し続けてきた福田先生にしか出せない音楽と、福田先生に育てられ、これから先の未来に挑む私たちの作る音楽。

バレエや音楽を愛するみなさん、そして子供たちや若い世代のみなさん。ぜひご自身の目と耳と心で、福田先生と私たちが生み出す生の音楽の素晴らしさ、バレエの素晴らしさを体感しにいらしてください。



— 井田勝大  
(シアターオーケストラトーンキョー音楽監督/指揮)

# ～語り継ぐバレエの軌跡～

マエストロ福田一雄のドリーム・プロジェクト

## 90<sup>th</sup> Celebration Special Gala

卒寿記念 特別公演

# バレエ の 情景

Scènes de ballet

〈出演〉

谷桃子バレエ団  
東京バレエ団  
東京シティ・バレエ団  
牧阿佐美バレエ団  
K-BALLET COMPANY

〈指揮〉

福田一雄 / 井田勝大

〈管弦楽〉

シアターオーケストラトーンキョー

2022年

11月20日(日) 14:00開演(13:15開場)

東京文化会館 大ホール

2022年 11月20日(日) 14:00開演(13:15開場) 東京文化会館 大ホール

〈出演〉 谷桃子バレエ団 / 東京バレエ団 / 東京シティ・バレエ団 / 牧阿佐美バレエ団 / K-BALLET COMPANY

〈指揮〉 福田一雄 / 井田勝大 〈管弦楽〉シアターオーケストラトーンキョー

〈料金(税込)〉 S席 12,000円 / A席 10,000円 / B席 8,000円 / C席 5,000円 / D席 3,000円

〈お問い合わせ〉 チケットスペース 03-3234-9999 〈公演詳細〉 [http://www.theater-orchestra-tokyo.com/fukuda\\_gala/](http://www.theater-orchestra-tokyo.com/fukuda_gala/)

〈チケット取り扱い〉

チケットスペース 03-3234-9999 (オペレーター対応) [チケットスペースオンライン](#) 検索 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <https://www.t-bunka.jp/tickets/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/classic/kazuo-fukuda/> (Lコード:34038)

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/kazuo-fukuda/> (Pコード:513-846)

イープラス <https://eplus.jp/kazuo-fukuda/>

◎公演中止の場合を除き、実施するすべての公演に関して、演目・キャスト変更に伴うチケット代金の払い戻し、公演日や券種の変更はお受けできません。あらかじめご了承ください。◎未就学児入場不可。

◎新型コロナウイルス感染症対策の詳細・最新情報は公式HPをご確認ください。

◎マスクの着用は必ずお願いします。公演での新型コロナウイルス感染症対策についてはこちらをご確認ください。 <http://theater-orchestra-tokyo.com/news/2022/taisaku.html>

主催・株式会社K-BALLET 共催・福田一雄卒寿記念公演実行委員会 協賛・Chacott / HAYAMI 後援・TBS 協力・ムジカアラ/アイエムエス

©Jun Kimoto / Ayumu Gombi



文化庁 子供文化芸術活動支援事業

# マエストロ福田一雄のもとに5カンパニーが集い贈る、1公演限りの夢の競演!

日本で初めてのバレエ専門指揮者として、またバレエ音楽研究の第一人者として  
バレエ界に数多の功績を残し、91歳を迎える2022年の今なお現役で活躍する  
マエストロ福田一雄のもとに、卒寿を記念して日本を代表する5つのバレエ団が一挙集結する  
1回限りのドリーム・プロジェクトがこの秋実現!

本公演では、カンパニーそれぞれがマエストロへの敬意を込め、  
団のアイデンティティというべきレパートリーの中から選りすぐりの演目を披露。  
また、公演タイトルともなっているグラズノフ作曲「バレエの情景」より前奏曲をはじめ、  
オーケストラ演奏もふんだんに楽しめるプログラムとなっている。  
国内のバレエ文化の黎明期から現在に至る発展の軌跡を改めて振り返り、  
福田一雄がいま惜しみなく伝えたい、バレエに捧げた想いを次世代へと語り継ぐ、  
この歴史的意義のある貴重なステージは見逃せない!



福田一雄  
Kazuo Fukuda

1931年、東京都生まれ。5歳より絶対音感早期教育を受け、ポール・ヴィノグラードフ(モスクワ音楽院教授)にピアノを学ぶ。1937年、学習院初等科に入学。中・高等学校を経て学習院大学政経学部に進むが、幼児期に習得していたピアノの腕を生かし、東宝交響楽団(現在の東京交響楽団)や東京フィルハーモニー交響楽団、近衛管弦楽団などでピアニストを務める。

やがて谷桃子や貝谷八百子が主催するバレエ教室のレッスンピアニストや、バレエ団公演でのピアノ演奏、レッスンピアニストを務めるようになり、この時、高田信一に和声や指揮法などの手ほどきを受ける。ほかに小牧バレエ団、橘バレエ学校や越智実バレエ団、法村友井バレエ団などでピアニストを務めるとともに、高英男や淡谷のり子などの旅公演で全国を回り、大学を中退し音楽家となる道歩んだ。

1957年、読売ホールにおいて「バレエ音楽の夕べ」を企画、日本フィルハーモニー交響楽団を指揮し、指揮者としてデビューした。NHK「世界の音楽」、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」の指揮者として国内外のソリストと共演。

多方面にわたる音楽活動のうち、ライフワークとして関わってきたのがバレエ音楽の研究である。長年、多くのバレエ団との指揮活動のほか、バレエ音楽の歴史、および複雑多岐にわたる楽譜の整理と蒐集を行いバレエ界に多大な貢献をしている。

現在、谷桃子バレエ団音楽監督、シアター オーケストラ トーキョー 名誉音楽監督、新国立劇場バレエ研究所講師を務める。受賞には舞踊ペンクラブ賞、橘秋子特別賞、著書に「バレエの情景」がある。日本指揮者協会幹事長。

## 【主要キャスト】



### 〈谷桃子バレエ団〉



#### 『Fiorito』より 第4楽章

振付: 伊藤範子  
ネーロ: 三木雄馬 ピアノ: 馳麻弥  
ロッソ: 檜山和久/竹内菜那子  
ヴェルデ: 田村幸弘/山口緋奈子 ほか谷桃子バレエ団

谷桃子バレエ団の70周年記念作品として伊藤範子が振り付け、音楽は福田一雄の推薦により、知る人ぞ知るロシアの作曲家カリンニコフの楽曲を用いている。交響曲第2番はらせん階段状に上昇していくような、循環する主旋律が特徴。そのスパイラルはまさに、団の創立から現在まで継承してきた“伝統”に、新しいものを取り入れながら“革新”する団のサイクルそのものと、伊藤は感じ取った。さらに歴史ある古典レパートリーをオマージュした振付もスパイスとして盛り込むことで、団として高次の芸術へ昇華・飛翔するイメージを表現している。今回は福田への感謝と敬意を込め、さらに進化した作品へと再構築しての上演。おそらくバレエ作品では世界唯一となるカリンニコフの楽曲と共に贈る、谷桃子バレエ団ならではのシンフォニック・バレエを堪能してほしい。

### 〈東京バレエ団〉



#### 『ドン・キホーテ』より “グラン・パド・ドゥ”

振付: ウラジミール・ワシーリエフ  
(マリウス・プティパ/アレクサンドル・ゴルスキーによる)  
キトリ: 秋山瑛 パジル: 生方隆之介 ほか東京バレエ団

セルバンテスの小説を基にした、マリウスプティパ振付、レオン・ミンクス音楽によるバレエ「ドン・キホーテ」がモスクワで初演されたのは1869年。その後、アレクサンドル・ゴルスキーによって大幅に改訂され、これが現在世界中で上演されている本作の演出の基本となった。東京バレエ団が2001年より上演しているのは、世界的ダンサー、ウラジミール・ワシーリエフが演出・振付を手掛けたヴァージョンである。その特徴は、簡潔でスピーディーな展開と、エネルギッシュな踊り。舞台上の人物たちの生き生きとした演技も魅力だ。このグラン・パド・ドゥが登場するのは終幕、キトリとパジルの結婚式の場である。華やかなアントレ(導入部)で始まるのは、華麗なテクニックが盛り込まれた主役二人の踊り。キトリの二人の友人のヴァリエーションがこれに花を添え、舞台の熱気は最高潮に達する。

### 〈東京シティ・バレエ団〉



#### 『真夏の夜の夢』 Act2 より

振付: 中島伸欣/石井清子  
ティターニア: 飯塚絵莉 オーベロン: 吉留諒  
ほか東京シティ・バレエ団

シェイクスピアの戯曲を基に創られた、東京シティ・バレエ団オリジナル版「真夏の夜の夢」は、福田一雄と、振付を担当した中島伸欣、そして福田とは1968年の当団創立前から親交のある石井清子が話し合いを重ね、メンデルスゾーンが「真夏の夜の夢」を演劇として上演するために作曲した楽曲に、「無言歌集」や「美しいメルジネの物語」などの楽曲を追加し、グランドバレエとして2003年7月に初演した。本公演では、妖精たちの気まぐれが起こした恋騒動の末、無事に元の鞘におさまり結婚した者たちの永遠の幸せを祝福する、妖精王オーベロンと女王ティターニアのパド・ドゥをお届けする。



#### 『ロミオとジュリエット』より “バルコニーのパド・ドゥ”

振付: 中島伸欣  
ジュリエット: 清水愛恵 ロミオ: キム・セジョン

『ロミオとジュリエット』は世界中で愛され、多くのバレエ団でも上演されている作品だが、本公演でご覧いただくのは、東京シティ・バレエ団オリジナル版である。中島伸欣の演出、中島伸欣/石井清子振付による本作は、わずか5日間の物語を風のように一気に駆け抜けるスピード感で、命を賭して求め合う、若い二人の悲しくも美しい恋を描いている。当団創立以来、「ジゼル」「白鳥の湖」のほか、多くのレパートリーの音楽構成を手掛けている福田一雄は、中島の求める疾走感を表現するための希望を快く受けとめ、本作が誕生した。今回お届けするのは、二人が初めて心を重ねるバルコニーのパド・ドゥ。二人が分かち合う恋の喜びをお楽しみいただきたい。

### 〈牧阿佐美バレエ団〉



#### 『飛鳥 ASUKA』より “ずがる乙女と竜神のパド・ドゥ”

振付: 牧阿佐美  
ずがる乙女: 青山季可 竜神: 菊地研

『飛鳥』は生涯をバレエに捧げた牧阿佐美が生前最後に振り付けた全幕バレエ作品。原版は1957年、母・橋秋子が『飛鳥物語』として初演。62年には片岡良和に作曲を依頼し、管弦楽による全幕作品として上演した。以後、時代とともに手を加え、2016年、牧阿佐美バレエ団創立60周年記念公演において、世界に発信できる日本のオリジナル作品『飛鳥 ASKA』として新制作した。日本を代表する洋画家・絹谷幸二の美術を最新の映像技術で映し出した宇宙的な空間の中、いにしへの都・奈良を舞台に竜神に愛された舞姫の悲しい運命が壮大なスケールで描き出され、日本の美とバレエが融合したバレエファンタジーとして大きな話題を呼んだ。今回は、終盤で披露される竜神となった舞姫と竜神による、牧阿佐美ならではの色彩とニュアンスに溢れた美しいパド・ドゥをお届けする。

### 〈K-BALLET COMPANY〉



#### 『シンプル・シンフォニー』

振付: 熊川哲也  
出演: 日高世菜/山本雅也  
成田紗弥/吉田周平 岩井優花/奥田祥智

2013年に大阪フェスティバルホールのリニューアル・オープンを飾る作品として、熊川哲也が英国を代表する作曲家ベンジャミン・ブリテンの同名曲に振り付けた抽象バレエ。曲調異なる4楽章から成る味わい深くも技巧的なこの交響曲を、熊川の振付は文字どおり一音たりとも取り逃すことなく可視化し、クラシック・バレエの多面的な美を描き出す。超絶技巧が織り込まれた密度の濃いステップを、優雅に、ダイナミックに、そして時にコミカルに紡ぎながら、3組の男女が多彩なフォーメーションを展開する様は、まさに“生ける名画”を見るよう。熊川仕込みの優れた技量と音楽性なくして踊りこなすことのできない本作は、今やK-BALLET COMPANYの代表作の一つ。“シンプル”という名とは裏腹に息もつかせぬ展開で音楽と舞踊が溶け合う、華麗でエレガントな視覚美の世界を堪能してほしい。

※キャストおよび演目は2022年9月13日現在。出演者の病気や怪我など、止むを得ない事情により変更となる場合がございます。最新情報は[http://www.theater-orchestra-tokyo.com/fukuda\\_gala/](http://www.theater-orchestra-tokyo.com/fukuda_gala/)にてご覧ください。